

1991年(平成3年)

6月15日号

No. 591

# 広報あしや

コパノミツハツシ  
市花



発行

芦屋市役所(公聴広報課)  
☎0797-31-2121  
〒659 兵庫県芦屋市精道町7番6号  
毎月1日・15日発行



すこやかな生活を

すこやかな人生を送るための新しいライフスタイル

## 新しいライフスタイルへの論文やエッセーを

### 高齢者を対象に原稿募集

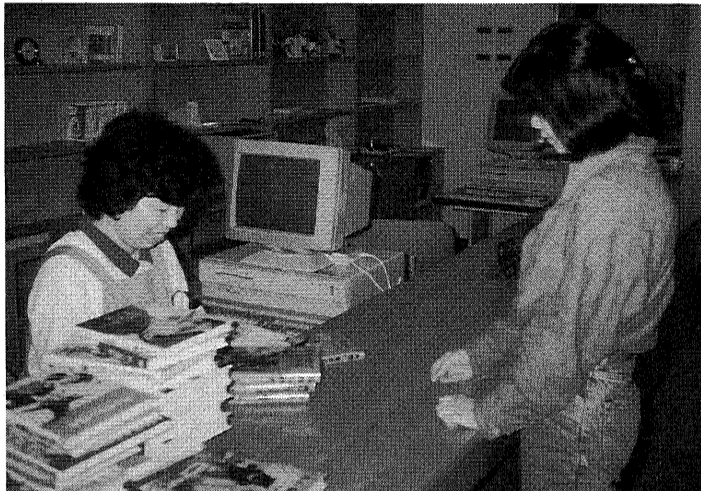
イル(暮らし方)に関する提言、ユニークな人生の体験をつづつたもの、シルバーボランティア活動・老人クラブ活動の活性化への提言などをテーマとした論文を募集します。入賞作品は、十一月発行予定の冊子「すこやかなエイジレスライフ」に掲載いたします。

### 募集要項

▼原稿枚数：四百字詰め

▼原稿用紙(B4判)三枚以上五枚まで。提出作品は返却しません。作品には表紙を付け、「タイトル」の外、氏名・住所・生年月日・電話番号を記入  
▼原稿締め切り：八月九日(金)〈当日消印有効〉  
▼応募資格：市内在住の六十歳以上のかた  
▼表彰：入賞五編(一万円)、佳作五編(図書券三千円分)。九月十二日健康福祉フェア式典にて表彰。  
▼問い合わせ：「すこやかなエイジレスライフ」原稿募集係(〒659、精道町7番6号、市高年福祉課内、☎2044)

# 26万冊の蔵書がより身近にご利用できます



大原分室は、ショッピング・ゾーンに近くて便利です

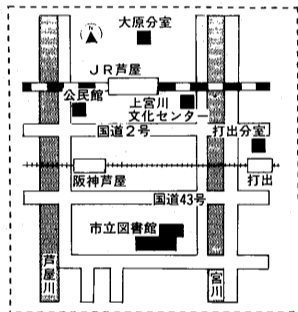
新刊本2万冊を開架

## 大原分室オープン

### 月水金土曜日開室

大原集会所に設置された図書館大原分室が、六月五日にオープンし、買い物帰りの市民や子どもたちでにぎわっています。開架室には、幼児向けの絵本から一般向けの実用書まで、新刊本約二万冊がそろっています。お気軽にご利用ください。

図書館の館外貸し出しは、大原分室を加えて、本館・打出分室・公民館図書室・上宮川文化センター図書室で、それぞれの冊数分の本が共通の貸出券で借りることが出来ます。(一人四冊、二週間以内) また市内で借りた本は



市内図書館一覧表

館名	開館時間	休館日	蔵書冊数
図書館 伊勢町12-5 ☎2301	〈平日〉9時30分~18時 〈日曜〉9時30分~17時	火曜日(第1火曜日が祝日のとその翌日)、国民の祝日、年末年始、特別整理日	約197,000冊
大原分室 大原町20-2 ☎7762	10時30分~16時30分	火・木・日曜、年末年始、国民の祝日、特別整理日	約20,000冊
打出分室 打出小穂町15-9 ☎7220	10時30分~16時30分	火・木・日曜、年末年始、国民の祝日、特別整理日	約18,000冊
公民館図書室 業平町8-24 ☎4995	9時30分~17時	火・日曜日、年末年始、国民の祝日	約20,000冊
上宮川文化センター 上宮川町10-5 ☎9229	9時30分~17時	日曜日、国民の祝日、年末年始	約5,000冊

左表の施設のどこでも返すことができます。なお、新大原分室のオープンに伴い、これまでご利用いただきました

「大原老人憩いの家」の旧大原分室は廃止になりました。問い合わせは、図書館(☎2301)へ。

## あなたも緑化協会(アソシエーション)入会を

### 花と緑にあふれる街に

一人ひとりの手で花や緑をふやし、みどりあふれる潤いのある街づくりをめざしましょう。会員になられますと、次のような特典があります。

### 事業内容および特典

- ▽フラワーボックス・ポット(土入り)の優先無料貸し出し
- ▽生け垣化、壁面緑化の助成
- ▽無料緑化相談所の開設(毎週水・金曜日、午前中、若葉町1番1号、☎0031)
- ▽各種みどりの展示会の開催および後援
- ▽園芸講習会の開催
- ▽花苗の無料配布



ワイヤーバスケット

▼個人会員のかたは、会員証を提示すれば花や園芸用品・造園関係等を安く買うことができます。

**入会のご案内**

▼入会の手続き：「花と緑につつまれた美しいまちづくり」を推進する目的に賛同される個人、法人および団体は、芦屋市緑化協会入会申込書と入会金を納入しますと会員となります。

▼入会金(初回のみ)：一口千円、個人一口以上、法人および団体三口以上

▼申し込み先：市緑化協会(精道町7番6号 ☎2103)

**壁に花と緑のアクセントを**

ワイヤーバスケットのつり鉢教室を開催します。

▼日時：六月十九日・二十一日の午前中

▼場所：緑の相談所

▼費用：千円(花苗、容器代込み)

▼申し込み：二日とも先着十人まで、電話で緑化協会へ。

## 第4回 あしや さくらまつり

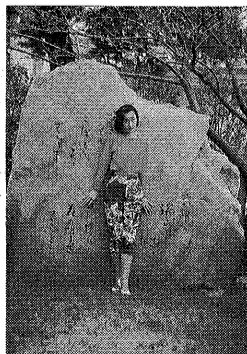
### 写真コンクール 審査結果

さくらまつりの期間を中心に、市内の「さくら」を題材とした、風景や人物の写真作品を募集し、市内外から六十人、百八十点の作品が集まりました。

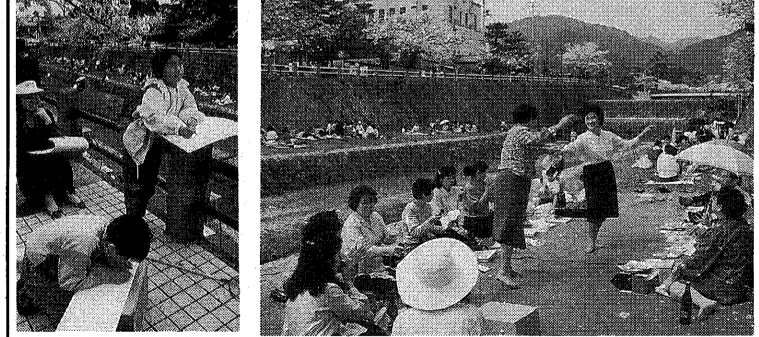
審査にあたった審査委員からは、「とくに上位入選の作品は、『まつり』の雰囲気よく表わっていて、日ごろの努力の成果あふれる力作が多く見受けられる」との意見が聞かれました。応募された全作品は五月二十五日から三十一日まで、市民センターで展示されました。

各賞入選者は次のとおりです。(敬称略)

- 推薦(芦屋市長賞・会長賞・兵庫フジカライ賞)
- 山本光雄(尼崎)
  - 谷川廣明(神戸)
  - 大島大作(明石)
  - 川野雄三(明石)
  - 落町光(神戸)
  - 小倉まきの(神戸)
- 特選(さくらまつり協議会会長賞・富士フィルム賞)
- 高橋三七子(芦屋)
  - 林 敏明(芦屋)
  - 川口小左男(芦屋)
  - 観光協会賞・兵庫フジカライ賞



「虚子三代句碑」 林 敏明氏



「春の河畔」 高橋三七子氏	「花見」 山本光雄氏	「桜と舞楽」 川口小左男氏
------------------	---------------	------------------

「広報あしや」は、広報委員さんや協力員(自治会の役員など)さんの手でご家庭に配布していただいています。





# ハッピーバースデー30歳



芦屋市とモンテペロ市が姉妹都市の提携をして、今年で三十周年を迎えます。

昭和三十六年五月二十四日に、提携を結んで以来三十年間、両市はさかんな市民交流を通じて、相互に理解を深め、その発展に力を合わせてきました。

さる五月二十五日には、モ市からの使節団が参加して、三十周年記念式典などの行事がおこなわれ、今後の両市のますますの友情を誓いあいました。

## 姉妹都市提携を結ぶまで

昭和三十一年、当時のアイゼンハワー米大統領が、都市提携運動を大々的に提唱したのを背景に、昭和三十四年秋、大阪で開催された太平洋沿岸市長会議に、オプザーパーとして出席したモ市議員イレーン・カーチナーさんが「アジア」という高級文化住宅都市のあることを知り、帰国後、関係者と協議の上、特別市議会で芦屋市と都市提携することを議決、後に議会の決議文を添えて申し入れがあったものです。

この提携三十周年を記念して、モ市からは、グラスマン市議員夫妻と市職員のカテリーナ・学生親善使節の交換、婦人英語教室、親善バスツアー、会報の発行、ビンゴパーティ、市立芦屋高校生のモ市派遣など、市民交流を中心とした積極的な友好交流事業が進められてきました。



姉妹都市提携式 市民の目を惹きつけるモンテペロバラ園

モ市からの訪問団 記念式典に参加

この提携三十周年を記念して、モ市からは、グラスマン市議員夫妻と市職員のカテリーナ・学生親善使節の交換、婦人英語教室、親善バスツアー、会報の発行、ビンゴパーティ、市立芦屋高校生のモ市派遣など、市民交流を中心とした積極的な友好交流事業が進められてきました。

モ市を訪問 市使節団も

また、市と姉妹都市協会は、これを機に両市の理解と友好をいっそう深めるために他にも両市の児童間の交流などの事業を計画しています。

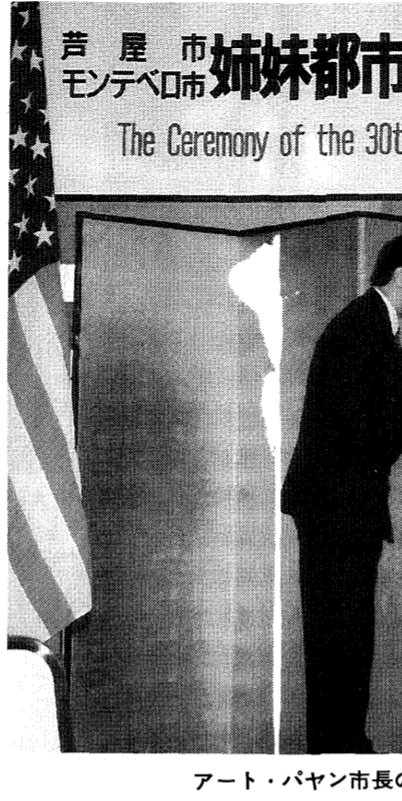
交換学生決まる

第二十八回親善交換学生が、長滝谷憲治(ながたき けんじ) 浜風町・大阪府立大二年)さんと山田 真規子(やままだ まきこ) 三条町・神戸女学院大一年)さんに決まりました。

提携30年を祝って 芦屋姉妹都市協会

会長 原田 文雄

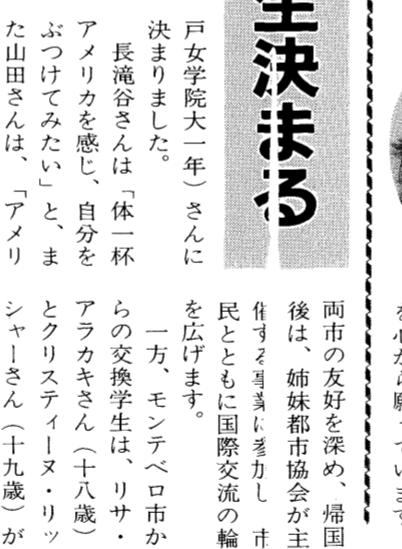
国際情勢は、提携当時の米ソ二大の対立緊張は既に大幅に緩和され、代わって今後は、地球全体の



アート・バヤン市長のメッセージを北村市長に手渡すグラスマン氏

交換学生決まる

第二十八回親善交換学生が、長滝谷憲治(ながたき けんじ) 浜風町・大阪府立大二年)さんと山田 真規子(やままだ まきこ) 三条町・神戸女学院大一年)さんに決まりました。



空き地は適切な管理を

夏草の生い茂るシーズンがやってきます。雑草の生い茂った空き地をそのまま放置すると、ごみ捨て場や子供の危険な遊び場になったりします。また、蚊やハエの発生源になり、まちの美観を損ねたり周辺の人に大変迷惑をかけることになります。

市役所アルバイト 募集

【ホームヘルパー】 ●年齢：30歳前後より50歳程度 ●勤務：3日間/週 ●期間：7月12月末 ●日給：5700円 ●程度 ●問い合わせ先：高年福祉課(☎20044)

老人健康相談

●日時：6月27日(木)14時～16時 ●会場：福祉会館 ●内容：専門医師による相談・助言 ●問い合わせ先：社会福祉協議会(☎7530)

空き地は適切な管理を

夏草の生い茂るシーズンがやってきます。雑草の生い茂った空き地をそのまま放置すると、ごみ捨て場や子供の危険な遊び場になったりします。また、蚊やハエの発生源になり、まちの美観を損ねたり周辺の人に大変迷惑をかけることになります。

市立芦屋病院看護婦

●年齢：助産婦看護婦 ●准看護婦いずれも50歳程度 ●勤務：時給1040円 ●1460円 ●問い合わせ先：市立芦屋病院総務課管理係(☎2156)

国民金融公庫の融資制度

●種類：国の事業ローン ●普通貸付(融資額400万円以内、経営多角化資金(特定設備資金)融資額5200万円以内) ●貸付金利：年利6.6% ●パーセント(4月22日現在) ●問い合わせ先：国民金融公庫東灘支店(☎078184213301)

第41回 社会を明るくする運動

暴力・暴走族追放/市民の集い

講演会 「親の心・子の心」

親孝行な非行少年

7月1日(日) 午後2時～4時

ルナ・ホール

講師 酒井 汀氏 (大阪少年鑑別所長)



# カエルに見とれ、せせらぎの水音に気づく セカンドスクール

自然教室・自然学校

科学技術の急速な発達と情報化、そして都市化現象の進展に、子どもたちの生活環境も大きく変化してきています。一方、子どもたちが、友だちと群れて遊び、自然に触れたり、体を通して物を創り出したりする体験の機会が少なくなっています。

本市が実施しているセカンドスクールは、兵庫県教育委員会の事業として全県下の五年生全員を対象とした五泊六日の自然学校に拡大発展し、推進されています。これらの体験は豊かな創造力、忍耐力、よりよい生活習慣の形成など、子どもたちの成長発達に大きな原動力になっています。

ここに、その成果の一端を五年児童の感想などを引用しながら紹介いたします。

## 心相らぐ子

「丹波で見とれたことは、川のせせらぎ、星空の世界、山々のつながり、光と水。」

「すきとおった水がさらさらと流れてきて、おどっているみたいです。それに合わせて流れている水の音に気がつきました。カエルも水の音を聞きながらひなたぼっこをしているみたいです。」

「芦屋で見つけたカエルだつたらつかんでも遊んだりするけど、ぼくはそのカエルを見てつかまえないよとは思いませんでした。」

五泊六日の間、豊かな自然に包まれて友だちと寝食を共にした子どもたちは、「地球の回るのが遅くなったのではないかとさえ感じていました。」

## いとむ子

「自然の神秘さ、偉大さに触れ、「自然に対する畏敬の念」を学べるのがこのセカンドスクールです。」

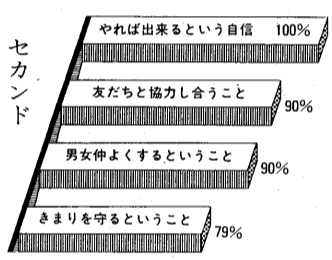
「これからは、簡単そうに見えるものこそが、簡単そうに見えないものがあると思います。」

「簡単そうに見えるものの難しさを知り、それに挑んだことにこそ意義があります。」



「すごく火が燃えてほかの班以上にけむりが出て、みんないっしょうけなめいです。はんごうからあわが出たぞ!このままいけば一番だ。やった新記録だ!ぼくらの班は汗とけむりに勝ったのだ!」

「苦勞したことが、一方で楽しい思い出として子どもたちの心に残っています。」



## 自立する子

「セカンドスクールに参加してどんなことを学びましたか」打出浜小学校のアンケートの結果(複数回答)は次のとおりです。

「これからの生き方に大きく影響することは間違いありません。」

「出発前には、六日間親子が離れるという事で、子どもも多少の不安を感じていました。帰ってきた子どもたちも聞いてみると、「ちょっと長いほうがよい」がほとんどなのです。」

「そして、自分のことは自分でするということを、辛抱して学んだ子どもたちは、「家の人がいないことと大変だなあということがよくわかった。家の人が気づかなくてくれていることがたくさんあるんだ」と感じてきます。」

「保護者の方からは、セカンドスクールを終えて帰ってきた子どもたちを見て、わが子を見て、「何も一人でできないと思っていた子が、少しはしっかりしてきたんだなあ」と見直しました。」

「この道が正しい」といって、友だちと助け合いながら、それぞれの仕事を分担し、

「成し終えた自信が感じられ、ひとまわり大きく成長したように思います。」

「このように、さまざまな生活体験は、伸び盛りの子どもたちにとっても有意義なものとなっています。より充実したセカンドスクールとなるよう、各学校で工夫・改善がなされています。」

「このページは市教育委員会が編集しています。お問い合わせは学校教育課(☎2087)まで。」



▲「へーえ、こんなに星があるとは思わなかった」(浜風小)

「その他、各学校の創意を生かして、竹細工、陶芸、うどん作りなどを地元の方から手ほどきを受けて体験したり、オリエンテーリング、野外観察、田植えや農家見学などを

「きずつけて、きずつけられて、きずついて」

「山手中学校 一年 朱山 剛仁君 (差別をなくそう県民運動) 応募作品」

「この道が正しい」といって、友だちと助け合いながら、それぞれの仕事を分担し、

「成し終えた自信が感じられ、ひとまわり大きく成長したように思います。」

「このように、さまざまな生活体験は、伸び盛りの子どもたちにとっても有意義なものとなっています。より充実したセカンドスクールとなるよう、各学校で工夫・改善がなされています。」



花いっぱい運動で広がるボランティアの心

昭和五十三年に発足したコミスク第一号です。それから十三年、緊張の内にも「ゆとり」さえ感じられるようになりました。二十人の委員は、いつも元気で楽しい企画を考えています。五月には「花いっぱい運動」で百人が学校園でフラワーバスケットを作り地域に美しい花をいっぱい飾りました。来年はコンクールも考えています。

「十二月には三条小学校の児童とひとり暮らしの高齢者との交流会(上級生の音楽演奏会、下級生との給食会など)を予定しています。介護が必要な人の所へボランティアグループがお手伝いをするなど、芦屋市の中でも特に高齢化が進む三条校区に、福祉の心が育ち、地域の輪、心の輪が広がっています。」

「さらに、活動の輪を広げるために、新しい参加者をお待ちしています。」

## 第68回ルナ・ホール名画鑑賞会 魔女の宅急便



7/21(日)  
前売料金 700円(当日1,000円)  
(4歳から大人も子どもも同じです)  
上映時間  
1回目 2回目 3回目  
10:00 12:15 2:30

## 平成3年度県民芸術劇場「きらめく星座」



7月26日(金)PM2:00開演  
6月下旬発売予定!  
作/井上ひさし  
出演/劇団道化座  
(大人) ¥2,000  
(中高生) ¥1,000  
(当日 ¥200増し)

この「広報あしや」を公演当日ご持参の方は、当日券を前売券料金扱いとします。\*前売券売り切れの場合は、当日券を発行致しませんので、上記扱いも中止となります。

▷問い合わせ◁  
ルナ・ホール協会  
業平町8-24  
(☎31-4962)

6/20より前売り開始!